

直近の学術フォーラム・公開シンポジウム等の開催予定について

令和3年12月24日時点

開催日時	開催場所・形式	名称
1月12日（水） 13：00～17：00	オンライン開催	公開シンポジウム 「カーボンニュートラルに向けた情報学の役割」
1月13日（木） 17：00～19：00	オンライン開催	公開シンポジウム 「歯学分野におけるジェンダー・ダイバーシティ～課題と展望について～」
1月17日（月） 13：30～16：30	オンライン開催	公開シンポジウム 「原子力総合シンポジウム 2021 福島第一原子力発電所事故から10年の今、考えること」
1月22日（土） 13：30～18：30	オンライン開催	公開シンポジウム 「総合知創出に向けた人文・社会科学のデジタル研究基盤構築の現在」
1月25日（火） 14：30～17：00	オンライン開催	公開シンポジウム 「コロナ禍での感覚器障害のリスク」
1月29日（土） 9：30～16：30	オンライン開催	公開シンポジウム 「スポーツ体育健康科学学術フォーラム『スポーツの新たなステージへ～調和のとれた共生社会の構築に向けて～』」
1月29日（土） 13：00～16：00	オンライン開催	公開シンポジウム 「動物科学の最前線：めくるめく多様性を科学する」
1月29日（土） 13：30～16：30	オンライン開催	公開シンポジウム 「いま「戦争」を考えるー社会学・社会福祉学の視座から」
2月3日（木） 13：00～17：30	オンライン開催	公開シンポジウム 「将来のエネルギー科学技術に向けたパワーレーザーと高エネルギー密度科学の役割と展望」
2月5日（土） 13：30～16：30	オンライン開催	学術フォーラム コロナ禍を共に生きる#4 新型コロナウイルス感染症の最前線 - what is known and unknown#3 「新型コロナウイルス感染症の予防と治療 Up-to-date そして変異株への対応」

公開シンポジウム 第15回 日本学術会議 情報学シンポジウム

カーボンニュートラルに向けた情報学の役割

主催: 日本学術会議 情報学委員会

日時 2022年1月12日(水) 13:00~17:00

場所 オンライン開催, 参加費無料

後援 国立情報学研究所, 情報通信研究機構, 電子情報通信学会,
情報処理学会, 映像情報メディア学会,
大学ICT推進協議会(AXIES)



13:00 開会挨拶 相澤清晴 (日本学術会議第三部会員, 東京大学大学院情報理工学系研究科教授)

第1部 情報科学技術の戦略

13:10 川口悦生 (文部科学研究振興局参事官)

「情報技術分野の研究に関連する最近の施策の動向」

13:30 MEI Hong (President, China Computer Federation (CCF), Professor, School of Computer Science, Peking University)

“China’s Strategies for Advanced Computing in Next Five Years”

14:00 Gurdip Singh (米国 NSF CISE Division Director)

“Next Generation Computing and Network Systems Research”

14:30 - 14:50 (休憩)

第2部 カーボンニュートラルへ向けた情報学の役割

14:50 高村ゆかり (日本学術会議会員, 副会長, 東京大学 未来ビジョン研究センター 教授)

「カーボンニュートラルへの国際的潮流と日本の政策について」

15:20 松橋隆治 (東京大学大学院工学系研究科 教授)

「情報技術によるカーボンニュートラル実現への期待」

15:40 森澤充世 (CDP Worldwide-Japan ディレクター)

「カーボンバジェットと企業リスク」

16:00 磐田朋子 (芝浦工業大学システム理工学部 准教授)

「ナッジによる省エネ行動」

16:20 パネルディスカッション 司会: 相澤清晴

パネリスト: 森澤充世, 磐田朋子,

東野輝夫 (日本学術会議連携会員, 大阪大学教授),

木俵 豊 (日本学術会議連携会員, 国立研究開発法人情報通信研究機構経営企画部部長)

16:50 閉会挨拶 谷口倫一郎 (日本学術会議第三部会員, 九州大学理事・副学長)

参加申込: [参加申込フォーム](#)

詳細: [情報学シンポジウムサイト](#)

問い合わせ先: 情報学シンポジウム事務局: <https://forms.gle/zF4gwXzrZ6uDeZVE6>

主催：日本学術会議 歯学委員会 病態系歯学分科会
第二部生命科学ジェンダー・ダイバーシティ分科会
共催：一般社団法人 日本歯科医学会連合
後援：日本生命科学アカデミー

公開シンポジウム

歯学分野におけるジェンダー・ダイバーシティ ～課題と展望について～

Web開催

参加費
無料

Live 配信
2022年1月13日(木)
17:00～19:00

事前登録期間

2021.11.24～2022.1.6

登録された方に
視聴のご案内をいたします。

登録は
こちらから



申込先・問い合わせ先：
一般社団法人
日本歯科医学会連合事務局
<http://nsigr.or.jp>
E-mail: jimukyoku@nsigr.or.jp

なお、シンポジウムの動画は日本
歯科医学会連合HPにアクセスし
て登録すれば、1/14（金）～2/13
（日）の期間、視聴することが可
能です。

我が国のジェンダーギャップ指数（2021年）は世界156か国中
120位で、主要7カ国（G7）では最下位である。科学技術学術分
野の男女共同参画についても、大学における女性研究者支援を軸
とする政策が開始され15年近く経つが、女性研究者の割合は先進
国のなかで最低である。

歯学領域においては、近年女子学生の割合が増加し、なかには
50%に達している大学もあり、博士課程修了者の数も年々増加し
ている。しかし、依然女性教員の数、特に教授職など上位職にお
ける女性の割合は医学部に比べても顕著に低い。また、学会や歯
科医師会で役員につく者の数も少ない。

我が国の歯科医療や歯学研究が国際的に高いレベルを維持し、
発展するためには人種性別を問わず優秀な人材を集め育成し、活
躍の場を提供することが重要である。本シンポジウムでは歯学分
野におけるジェンダーギャップの現状を共有し、男女共同参画を
実現するための課題と展望について多角的に議論するものである。

多数の皆様の積極的なご参加を期待しております。

総合司会：樋田 京子

開会挨拶：

市川 哲雄（日本学術会議第二部会員、歯学委員会委員長、徳島大学教授）

住友 雅人（日本歯科医学会連合理事長、日本歯科大学名誉教授）

シンポジウム座長：

樋田 京子（日本学術会議連携会員、北海道大学大学院歯学研究院教授）

川口 陽子（日本歯科医学会連合理事長、東京医科歯科大学名誉教授）

講師：

熊谷日登美（日本学術会議会員二部会員、第二部生命科学ジェンダー・
ダイバーシティ分科会委員長、日本大学生物資源科学部教授）

樋田 京子（日本学術会議連携会員、北海道大学大学院歯学研究院教授）

久保庭雅恵（大阪大学大学院歯学研究科准教授）

田村 文誉（日本歯科大学口腔リハビリテーション科教授）

総括・閉会挨拶：

村上 伸也（日本学術会議第二部会員、病態系歯学分科会委員長、
大阪大学教授）

主催

共催

後援

原子力総合シンポジウム2021

福島第一原子力発電所事故から 10年の今,考えること

日 時 2022年1月17日(月)13:30~16:30

場 所 Zoomウェビナーによるオンライン開催

参加費 無料

※事前に参加申し込みが必要です

お申込みはこちら <https://www.aesj.net/symp20220117>



プログラム

開会の挨拶

13:30 関村直人(日本学術会議連携会員,東京大学)

基調講演

13:40

(1) 福島第一原子力発電所事故から10年：安全規制と社会の信頼

藤田玲子(日本原子力学会元会長)

14:30

(2) 韓国における福島第一原子力発電所事故後10年間の原子力安全及び社会の課題

Byung Joo Min(韓国原子力学会元会長,UNIST)

パネルディスカッション

15:20

「2050年の世界のエネルギーシステムとしての原子力の意義」

コーディネータ 大倉典子(日本学術会議第三部会員,芝浦工業大学)

パネラー 藤田玲子, Byung Joo Min, 山口 彰

閉会の挨拶

16:20 山口 彰(日本原子力学会元会長,東京大学)

参加申込・問合せ先

日本原子力学会事務局 東京都港区新橋2-3-7, TEL 03-3508-1261, E-Mail kikaku@aesj.or.jp

参加申し込み <https://www.aesj.net/symp20220117>

シンポジウム

総合知創出に向けた 人文・社会科学のデジタル研究基盤 構築の現在

2022年1月22日（土曜日）
オンライン開催

参加費 無料
参加申し込みは[こちら](#)⇒



開催趣旨

第6期科学技術・イノベーション基本計画において人文・社会科学に期待される総合知の実現には、研究データの構築と利活用が一つの鍵となっており、研究データインフラの構築も徐々に進みつつある。

しかしながら、日本におけるこれまでの人文・社会科学における研究データの構築は、ごく一部の例外を除き、決して十分に実施できてきたとは言えない状況である。この背景には日本ならではの独自の事情や技術的制約など、様々な事情があるが、そうした状況が徐々に改善されてきたこともあり、ようやく人文・社会科学における研究データの本来的な課題に向き合う環境が整いつつある。

本シンポジウムでは、こうした状況を踏まえ、現状の課題を共有するとともに、今後の展開やその応用可能性について検討する。

プログラム

- 13:30 開会挨拶** 永崎研宣（日本学術会議連携会員、一般財団法人人文情報学研究所主席研究員）
- 13:40 第一部 人文・社会科学における研究データの構築のための国際標準と課題**
- ・学術研究のための多言語・多文字への対応と多漢字・変体仮名
 - 高田智和（国立国語研究所准教授）
 - ・人文学向け国際標準に基づく東アジア・日本のテキスト構造化
 - 永崎研宣（日本学術会議連携会員、一般財団法人人文情報学研究所主席研究員）
 - ・画像公開方式IIIFと歴史GISによるデータ統合と総合知
 - 北本朝展（ROIS-DS人文学オープンデータ共同利用センター センター長・国立情報学研究所教授）
- 15:20 第二部 様々なコンテキストによるデータの構築から総合知へ**
- ・データ駆動型研究方法論の開拓を視野に入れた『人事興信録』研究
 - 増田知子（名古屋大学大学院法学研究科教授）、佐野智也（名古屋大学大学院法学研究科特任講師）
 - ・クラウドソーシングによるデータ構築から古地震研究へ
 - 加納靖之（東京大学地震研究所・地震火山史料連携研究機構准教授）
 - ・国立国会図書館のデジタル化事業とそこから産み出されるデータの可能性
 - （国立国会図書館：登壇者調整中）
- 17:00 第三部 コメント：総合知に向けた人文社会科学データの観点から**
- 矢野桂司（日本学術会議第一部会員、立命館大学文学部教授）
 - 橋本隆子（日本学術会議連携会員、千葉商科大学副学長）
 - 西田真也（日本学術会議第一部会員、京都大学大学院情報学研究科教授）
- 18:00 総合ディスカッション**
- 18:30 閉会**

主催：日本学術会議 心理学・教育学委員会、言語・文学委員会、哲学委員会、社会学委員会、史学委員会、地域研究委員会、情報学委員会合同
「デジタル時代における新しい人文・社会科学に関する分科会」

後援（現時点）：日本デジタル・ヒューマニティーズ学会、日本図書館情報学会、三田図書館・情報学会、デジタルアーカイブ学会、情報知識学会（他、依頼中）

連絡先：「総合知創出に向けた人文・社会科学のデジタル研究基盤構築の現在」シンポジウム事務局
scjdhs(a)dhii.jp ※(a)を@にしてお送りください



主催

日本学術会議

臨床医学委員会感覚器分科会

共催

公益財団法人日本眼科学会

一般社団法人日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会

市民公開講座

事前申込制
参加費無料

日時

2022年 1月 25日 火
14:30~17:00 (開場 14:00)

開催
形態

「Zoom」を使った Web ライブ配信

コロナ禍での 感覚器障害のリスク

座長

寺崎 浩子
山嵜 達也

日本学術会議第二部会員
名古屋大学未来社会創造機構特任教授

日本学術会議第二部連携会員
東京大学耳鼻咽喉科頭頸部外科学分野教授

プログラム

開会挨拶 村上 信五 (名古屋市立大学特任教授、日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会理事長)

1 コロナで起こる嗅覚障害

演者 森 恵利 (東京慈恵会医科大学耳鼻咽喉科学教室講師)

2 コロナで起こる味覚障害

演者 任 智美 (兵庫医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室講師)

3 コロナ禍で再考 一自己判断による眼疾患の重症化一

演者 外園 千恵 (日本学術会議第二部連携会員、京都府立医科大学眼科学教室教授)

4 コロナ禍で変わる日常、子どもの目をどう守るか?

演者 仁科 幸子 (国立成育医療研究センター眼科診療部長)

閉会挨拶 大鹿 哲郎 (筑波大学医学医療系眼科教授、日本眼科学会理事長)

お申込み期限

2022年 1月 17日 (月)

※但し、定員に達した段階で
締め切らせていただきます。
事前参加登録のない方の
視聴はできませんので、
ご了承ください。

お申込み方法

下記の専用サイトからお申込みください。

<https://medical-meeting.jp/cpseminar2022/>

お問い合わせ

市民公開講座「コロナ禍での感覚器障害のリスク」運営事務局

E-mail : office@jibika.or.jp



スポーツ体育健康科学 学術フォーラム

兼 日本スポーツ体育健康科学学術連合第4回大会

2022

1/29 土

スポーツの新たなステージへ

～調和のとれた共生社会の構築に向けて～

会場 | Zoomウェビナーにて開催 定員 | 500名

【無料・要事前申込】

主催：日本スポーツ体育健康科学学術連合（JAASPEHS）
日本学術会議健康・生活科学委員会 健康・スポーツ科学分科会

共催：日本体育・スポーツ・健康学会（JSPEHSS）

9:30 – 開会挨拶 阿江 通良（日本体育大学教授、JAASPEHS代表）
共催団体挨拶 菊 幸一（筑波大学教授、JSPEHSS会長）
9:45 – 全体趣旨説明 清水 紀宏（筑波大学教授、JAASPEHS運営委員長）

※ 本フォーラムの
開催趣旨は裏面
をご覧ください

第一部 10:00 - 12:30 コーディネーター 清水 紀宏 (JAASPEHS運営委員長・筑波大学教授)

スポーツ人材の知性・専門性とその質保障 ～スポーツ科学教育の高質化～

森岡 裕策（公益財団法人日本スポーツ協会専務理事）
土井 香苗（ヒューマン・ライツ・ウォッチ東京ディレクター）
岡出 美則（日本体育大学スポーツ文化学部長）
原田 宗彦（大阪体育大学学長）

第二部 13:30 - 16:00 コーディネーター 来田 享子 (日本学術会議第二部連携会員・JAASPEHS副代表・中京大学教授)

多様性が調和する スポーツ文化の確立に向けた学術の貢献

小松 浩子（日本学術会議第二部会員・日本女性医学会理事・日本赤十字九州国際看護大学学長）
杉山 翔一（Field-R法律事務所弁護士）
神尾 陽子（日本学術会議第二部連携会員、お茶の水女子大学客員教授、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター客員研究員）
有森 裕子（公益財団法人スペシャルオリンピックス日本理事長）
16:00– 全体総括 宮地 元彦（日本学術会議第二部会員健康・生活科学委員会健康・スポーツ科学分科会委員長、早稲田大学教授）
16:20– 閉会挨拶

日本スポーツ体育健康科学学術連合

Japan Academic Alliance for Sport, Physical Education, and Health Sciences

＜お申し込みはこちら＞

<https://jaaspehs.com/info/566/>



スポーツの新たなステージへ ～調和のとれた共生社会の構築に向けて～

本フォーラムでは、主に東京2020オリンピック・パラリンピック大会の開催準備期間に進められてきたスポーツに関わる政策展開やスポーツ組織・団体における諸活動等によって見出されたスポーツ界をめぐる重要な課題を取り上げ、東京2020大会後の新たなスポーツのステージと調和のとれた共生社会の構築に向けた展望について考える。具体的には、1) 新たなスポーツのステージへと牽引するスポーツ人材の知性と専門化の在り方、そしてその養成と配置、資格制度の再構築、2) 多様な人々が共生する社会においてスポーツがその役割を効果的に発揮するための学術および組織的体制のあり方、について議論を深める。

第一部

スポーツ人材の知性・専門性とその質保障 ～スポーツ科学教育の高質化～

- 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格制度のビジョン
森岡 裕策（公益財団法人日本スポーツ協会専務理事）
 - スポーツ人材の資格制度の在り方－国家資格の可能性と必要性－
土井 香苗（ヒューマン・ライツ・ウォッチ東京ディレクター）
 - 専門職人材養成課程での質保障、体育・スポーツ・健康科学のカリキュラム基準
岡出 美則（日本体育大学スポーツ文化学部長）
 - 専門職業人としてのジョブ・マーケットの現状と開発可能性と必要性
原田 宗彦（大阪体育大学学長）
- コーディネーター 清水 紀宏（筑波大学教授、JAASPEHS運営委員長）

第二部

多様性が調和するスポーツ文化の確立に向けた学術の貢献

- 学術の担い手としての大学組織におけるジェンダー・ダイバーシティ
－日本学術会議公開シンポジウムの成果と日本女性医学会の知見から－
小松 浩子（日本学術会議第二部会員・日本女性医学会理事・日本赤十字九州国際看護大学学長）
 - スポーツにおける人権保障のための組織的体制に関する国際動向
杉山 翔一（Field-R法律事務所弁護士）
 - スポーツ×メンタルヘルス×特別なニーズのある子どもたち
神尾 陽子（日本学術会議第二部連携会員、お茶の水女子大学客員教授、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター客員研究員）
 - スペシャルオリンピックスの取り組みから考える
有森 裕子（公益財団法人スペシャルオリンピックス日本 理事長）
- コーディネーター 来田 享子（日本学術会議第二部連携会員、中京大学教授、JAASPEHS副代表）



公開シンポジウム

動物科学の最前線： めくるめく多様性を科学する

2022年1月29日(土) 13:00-16:00

Zoomオンライン開催 参加費無料 要事前登録

丸山 宗利(九州大学総合研究博物館准教授)

甲虫の多様性解明における最後の砦、ヒゲブトハネカクシ

石川 麻乃(東京大学大学院新領域創成科学研究科准教授)

ゲノムから探る！母なる海から離れたトゲウオたちのサバイバル術

木下 充代(総合研究大学院大学先導科学研究科准教授)

アゲハチョウの訪花行動における視覚の役割

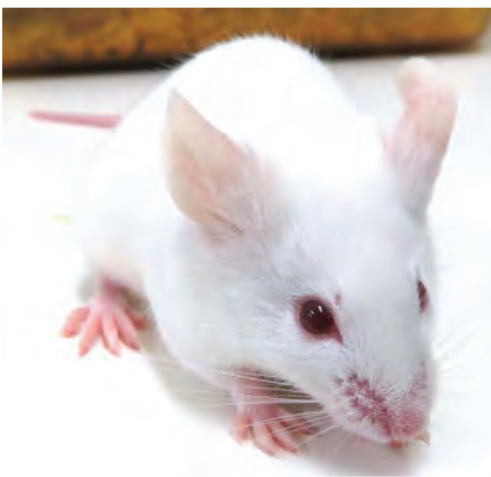
東原 和成(東京大学大学院農学生命科学研究科教授)

動物の行動・生理を制御するフェロモン:ヒトにはあるか？

倉谷 滋(理化学研究所倉谷形態進化研究室)

進化のなかで形はどう変わるのか

申し込みはこちら
(1月21日17時締切)



主催: 日本学術会議 基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同 動物科学分科会
文部科学省科学研究費補助金 新学術領域研究「進化制約方向性」総括班

共催: ERATO深津共生進化機構プロジェクト 連絡先: M-ERATO-International-Seminar-ml@aist.go.jp

いま

「戦争を

考える

2022
1.29 [SAT]
13:30-16:30

社会学・社会福祉学の視座から

日本マス・コミュニケーション学会／立命館大学
福間良明 「戦争とメディア・大衆文化」

日本社会学会／一橋大学
佐藤文香 「戦争とジェンダー・性暴力」

数理社会学会／関西学院大学
渡邊勉 「戦争と階層・格差・不平等」

日本社会福祉学会／日本福祉大学
藤井渉 「戦争と障害者・動員・福祉」

社会学系コンソーシアム | 日本学術会議
第14回シンポジウム

オンライン Zoom ウェビナー

こちらより事前にご登録ください。▶
(定員：先着 500 名)



〈開会のごあいさつ〉

日本学術会議委員 東京大学 白波瀬佐和子
社会学系コンソーシアム理事長／立教大学 関礼子

〈討論者コメント〉

日本社会学会／東京大学名誉教授
上野千鶴子

関東社会学会／筑波大学
野上元

〈閉会のごあいさつ〉

日本学術会議委員 東京大学 有田伸

〈趣旨説明・オーガナイザー・司会〉

関西社会学会／明治学院大学

石原俊

コロナ禍のなかで、さまざまな社会的問題が露呈した。そうした問題が、近代以降の日本社会の軌跡、特にアジア太平洋戦争と関連づけて語られることも少なくない。

第二次世界大戦の終結から75年以上が経過したいま、戦争体験者の加齢が進み、「戦争を知らない世代」が大多数となった。「戦後80年」までの間に、アジア太平洋戦争での軍隊経験をもつ世代はもろろん、空襲や地上戦の経験をもつ世代が、日本社会からほとんどいなくなると思われる。

一方で、21世紀に入り、「対テロ戦争」の拡大、民間軍事会社の台頭、インターネット・人工知能技術に支えられた無人兵器の拡大など、戦争・軍事のあり方も大きく変容した。そして依然として、戦争は世界各地で繰り返されている。

だが、現在の日本社会では全体として、戦争・軍事に関する「感度」が減衰した状態がみられる。これからのグローバル社会における日本のあり方を考えるとき、社会の構成員の戦争・軍事に対する「感度」を、これ以上鈍化させてはならないだろう。

本シンポジウムでは、理論研究・質的研究・計量研究・国際比較研究で第一線を担う研究者からの報告をもとに、戦争・軍事について社会的・社会福祉学的観点から考える機会としたい。

将来のエネルギー科学技術に向けた パワーレーザーと 高エネルギー密度科学の役割と展望

2022年
2月3日[木]
13:00-17:30

日本学術会議講堂とオンラインのハイブリッド

●定員：日本学術会議講堂 150人※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため変更の可能性があります

【アクセス】東京メトロ千代田線「乃木坂」駅 5出口 東京都港区六本木7-22-34

オンライン 300人

●参加費：無料 どなたでも参加いただけます ※事前に参加申し込みが必要です



●参加申し込みはこちら

<https://www.optronics.co.jp/symposium/powerlaser/>

PROGRAM

13:00 開会

前半司会 犬竹 正明 | 日本学術会議連携会員/東北大学名誉教授
開会の辞 近藤 駿介 | 日本学術会議連携会員/原子力発電環境整備機構 理事長
挨拶 吉村 忍 | 日本学術会議 第三部 部長
高西 一光 | IFEフォーラム 産長
上坂 充 | 内閣府原子力委員会 委員長

13:15 講演 I

フォトリック結晶面発光レーザーの進展と展望
—究極の半導体パワーレーザーの実現を目指して—
野田 進 | 京都大学大学院工学研究科 教授

エネルギー科学における
レーザープロセッシングの課題と展望

小林 洋平 | 東京大学物性研究所 教授

パワーレーザー・高エネルギー密度科学の課題と展望

児玉 了祐 | 日本学術会議連携会員/大阪大学レーザー科学研究所 所長

14:45 後半司会 三間 園興 | 日本学術会議連携会員/大阪大学名誉教授

講演 II

カーボンニュートラル実現に向けた
熱エネルギー利用の現状と展望

藤岡 恵子 | 日本学術会議特任連携会員/
株式会社ファンクショナル・フルイド 代表取締役社長

エネルギー科学技術における
レーザー駆動量子ビームの利用

河内 哲哉 | 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 関西光科学研究所 所長

エネルギー最適化に向けた東芝の取り組み

落合 誠 | 東芝エネルギーシステムズ株式会社
エネルギーシステム技術開発センター セネラルマネージャー

16:00 総合討論

将来のエネルギー科学技術に向けた
パワーレーザー技術と
高エネルギー密度科学の役割と展望

●コーディネーター

笹尾 真実子 | 日本学術会議連携会員/東北大学名誉教授

●コメント

カーボンニュートラル実現に向けたレーザー技術の応用

久間 和生 | レーザー学会 会長/
国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 理事長

●パネリスト

岩田 夏弥 | 大阪大学高等共創研究院 准教授/
落合 誠/河内 哲哉/久間 和生/児玉 了祐/
小林 洋平/野田 進/藤岡 恵子

17:25 閉会の辞 晴地 宏 | 日本学術会議連携会員/大阪大学名誉教授

17:30 閉会

●お問い合わせ

大阪大学レーザー科学研究所内 事務局

大阪府吹田市山田丘2-6

TEL : 06-6879-7987

E-mail : scj22@ile.osaka-u.ac.jp



●公開シンポジウムの詳細はこちら

【主催】日本学術会議総合工学委員会 エネルギーと科学技術に関する分科会/
IFEフォーラム

【共催】大阪大学レーザー科学研究所/量子科学技術研究開発機構関西光科学研究所

【協賛】一般社団法人レーザー学会/一般社団法人プラズマ・核融合学会/一般社団法人日本物理学会/日本加速器学会/
光エレクトロニクスフォーラム/パワーレーザーフォーラム/日本フォトリック協会/光科学アライアンス

【協力】株式会社オプトロニクス社



学術フォーラム コロナ禍を共に生きる 4

「新型コロナウイルス感染症の最前線ーwhat is known and unknown #3 」

「新型コロナウイルス感染症の予防と治療 Up-to-date そして変異株への対応 」

主催: 日本学術会議、日本薬学会、日本医学会連合

後援: 日本生命科学アカデミー

2022 年 2 月 5 日(土) 13:30～16:30

オンライン開催

開催趣旨

本学術フォーラムでは、Covid-19 を克服するための2本柱である新型コロナワクチンと治療薬に焦点を当て、変異株も含めた最新情報を分かりやすく解説いたします。また、最近、厚生労働省が特例として薬局での販売を認可した抗原検査キットをはじめ Covid-19 の検査法の最新情報についても取り上げます。

司会 武田真莉子（日本学術会議連携会員）

13:00-13:10 開会の挨拶

望月眞弓（日本学術会議副会長）

門田守人（日本医学会連合会長）

13:10-13:15 趣旨説明

高倉喜信（日本学術会議連携会員）

座長 伊藤美千穂（日本学術会議連携会員）

13:15-13:50 「新型コロナ検査キットとの付き合い方」

横井正之（パスカル薬局）

13:50-14:25 「新型コロナワクチンの Up-to-date」

宮坂昌之（大阪大学免疫学フロンティア研究センター招へい教授）

14:25-15:00 「新型コロナ治療薬の Up-to-date」

前仲勝実（北海道大学薬学研究院教授）

15:00-15 : 15 休憩

座長 磯 博康（日本学術会議第二部会員）

15:15-15:50 「新型コロナウイルス感染症の予防と治療の実際」

長尾美紀（京都大学医学研究科教授）

15:50-16:25 「新型コロナウイルス感染症：米国と世界の状況、変異ウイルスと今後の展望」

峰 宗太郎（米国立研究機関博士研究員）

16:25-16:30 閉会の挨拶

佐々木茂貴（日本薬学会会頭）